

人間文化学科通信

号外②

大平ゼミの活動

私たちのゼミでは、東日本大震災の前後頃から、宮城県内の小学校を訪問し、保管されている貴重な歴史的資料を整理して将来に伝えるべく保全し、資料の内容を調査、研究する活動を行っています。

資料の重要性を知っていただくために取り組んでいるのが、先生方が日々記録し続けた学校日誌を素材とした展覧会の開催です。

現在は、昨年、蔵王町の調査で発見した3校の学校日誌をもとに「ちよつと昔の蔵王町」展の準備を進めています。その様子をご紹介します。

「どんな記事を紹介しようか」。多くの候補の中から、紹介する記事を決めると、いよいよ展覧会の準備が始まります。

①選んだ記事の説明文（キャプション）作りが重要な作業です。50文字程度で内容をもれなく伝え、かつ、興味を持って読んでもらえるように文章を作るのは難しい作業です。



②キャプションの文案が固まったら、プリントして糊パネに貼ってできあがり。



③テーマごとに展示物を並べ、どうしたら見やすいか、床に並べて検討します。配置を決めたら写真をとって、これが展示会場での設計図になります。



④完成した展示物をコーナーごとに収納し、展示会場への搬入準備完了。

蔵王町での展覧会は6月3日から6月22日まで、蔵王町「ございんホール」展示室で開催します。今、米の高騰が話題になっていますが、大正時代の「米騒動」に関する興味深い記事も展示しますよ。わざわざ見に来る価値あり。見に来て下さい。